

わ
輪を和でつなぐ

広報

しまはち通信



Shima8 news



八王子在宅医療福祉連携研究会設立に向けて

2008年9月に、脳内出血を起こした30代前半の妊婦が複数の病院に受け入れを断られ死亡したという事件が報道され社会問題となりました。厚生労働省は、受け入れ困難な理由として、新生児集中治療室(NICU)など病床の満床が理由だったとする調査結果を公表し、それから在宅への流れが加速していきました。家族の在宅の体制・心の準備が整わないうちに在宅へ進んでいき、必死になって子どもを育てている母親が島はち(島田療育センターはちおうじ)の外来にはやってきます。超重症心身障害児の子育てをしているお母さんの平均睡眠時間は5時間です。それも何回も起こされての5時間です¹⁾。ぼろぼろになりながら我が子のために一生懸命子育てをしているお母さんのために何をしたらいいのだろうか。常に問いかけていましたが答えがみつかりません。そんな中全国で先進的に取り組んでいる看護師さん、介護士さんなど多くの方々と出会い、医療の限界を感じました。厚生労働省は、地域包括ケアを推進するために、医療と介護が連携し、多様な生活支援サービスの確保と推進をすることをうたっています。だからこそ、障害児者を支えている医療・福祉・教育・行政が連携して、ともに考えていこう。そんな思いから八王子在宅医療福祉連携研究会は立ち上がりました。

3月15日に開かれた第一回目は79名の方が集まってくれました。島はちのスタッフを入れると

100名近くの方が参加したことになります。第一部は「重症心身障害児者の現状と課題」を私が発表させていただきました。第二部は各施設の紹介がありました。会場は熱気にあふれていました。その後の名刺交換でも多くの方が障害にかける熱き思いを語ってくださり、中には涙ながらに語ってくださる方もいました。このような出会いを作ってくれたすべての方に感謝します。でもこの会はまだ始まったばかり。この出会いを盛り上げて、子どもたちのため家族のためになるシステムを考えていきましょう。昔は制度など何もありませんでした。お母さんは家族からも責められていました。誰にも気づいてもらえない闇の中。その中から、声を出し、叫び、知ってもらうこと、認めてもらうことから、今の形が生まれました²⁾。でもまだまだ十分ではありません。新たにみんなで創っていく。この会はそういう会でありたい。みんなで楽しく「輪」を「和」でつないでいきましょう。「祭り」を盛り上げていきましょう。よろしくお祈りします。

(所長 小沢 浩)

【引用文献】

- 1). 小沢浩、木実谷哲史、舟橋満寿子、宮地幸、倉田清子、田沼直之、富田直、三山佐保子、志倉圭子、山田直人、内山健太郎、栗原栄二、中村由紀子、佐々木征行。東京多摩地区における超重症児者の実態調査 日児誌 2010; 114: 1892-1895.
- 2). 愛することからはじめよう-小林樹樹と島田療育園の歩み- 小沢浩著 大月書店 2011年 4月 東京

多くの方に利用して頂きました

八王子市に当センターを開設して2年が経過しました。年間利用者の延べ総数は31,443人（23年度は22,619人）で23年度の1.4倍となり、一日平均128名の方に利用して頂きました（図1、2）。

障害児者を対象とする療育診療に関わる電話相談件数は24年度1090件あり、療育診療の新患総数は625人でした。療育診療は希望される方が24年度も多く、現在、初診は3カ月待ちの状況です。25年度はそうした待ち状況を少しでも改善するために、医師1名、リハスタッフ4名を新規に採用します。小児科診療（えみんぐ）は、一日平均45人（延べ総数は11,178人で23年度の1.7倍）利用して頂けるようになってきています。25年度の小児科診療は毎日2診察体制で診察を行います。また、重症心身障害者通所事業や発達障害児支援事業も関係機関や保護者、地域住民の皆さまからの温かいご支援とご協力を頂きながら、各事業で成果を挙げることができました。

25年度も利用者の皆様にとって満足して頂ける診療・リハビリ・生活支援を提供していきたいと思っています。

（副所長 鮎澤 浩一）

図1. 月ごとの利用者数

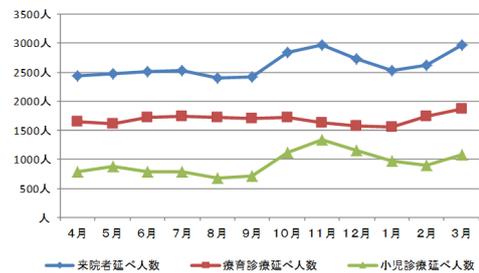
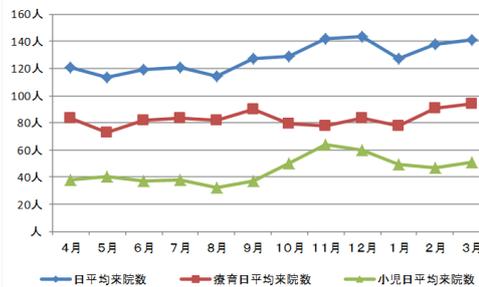


図2. 日ごとの利用者数



JICA「母子保健福祉行政」研修受け入れ

昨年に引き続き、第2回目の平成24年度研修を平成25年2月19日（火）実施しました。参加メンバーはベナン共和国【アフリカ】1名、モルドバ共和国【東ヨーロッパ】1名、インドネシア2名、ネパール1名、フィリピン2名、タイ2名の6か国9名の方々に、職種は医師、看護師、助産師、公衆衛生担当者などでした。この研修の責任者である坂東さん（あの南相馬のアクリルたわしの発案者）、通訳の方、事務担当者の日本人3名を含め全員で12名でした。

今年は、去年と違い八王子盲学校幼稚部見学の後、午前11時から受け入れ昼食をはさんで午後5時まで半日を越す長時間でした。内容としては、去年好評だった障害児を持つお母さんの話をAさんに語って頂き、院内見学、あとはリハ科のスタッフ中心に日本での資格はどうか、どうしてこの仕事についたのか、しまはちでの仕事ややりがいなどを話してもらい、質問などで盛り上がりました。



この研修自体は、1月27日から2月23日まで28日間、東京、埼玉、京都、大阪での母子保健関係を中心に見学、講義、ディスカッション、演習など幅広いものがあります。

いろいろな国の方々にはしまはちの精神がわかってもらえるのはとても楽しいものがありました。

（福祉相談科 松山 容子）



障害者文化展

通所を利用されている方々が表彰を受けてきました。



餅つき会

1月8日（火）センター1階にて、餅つき会を行いました。寒い日でしたが、通所の利用者様を中心に外来にいらしていたご家族も参加され、熱気に包まれました。

大きな臼と杵を準備していると、不思議そうな表情で近寄ってきたお子さんもいらっしゃいました。だんだんと餅米の炊けるいい香りがフロア中に広がり、職員をはじめ、利用者の方や外来にいらしていたご家族も集まってきました。

法被を着た職員や通所利用者様が、「よいしょ！よいしょ！よいしょ！！」のかけ声に合わせて餅をつきました。餅をつく音や臼と杵のぶつかる音など、普段とは異なる雰囲気を通所利用者様も楽しまれていたようでした。リハビリ訓練中のお子さんや外来にいらしていたおさんたちも、保護者の方やリハビリスタッフとともに参加されていました。大きな音と大きな歓声に少しドキドキしてしまった方もいたようでしたが、だんだんと慣れてきてみなさん笑顔で餅つきを行うことができました。



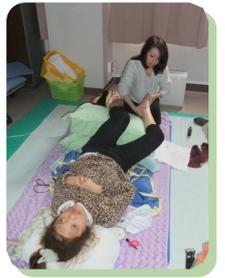
年明け早々日本ならではの伝統行事をセンター全体で楽しむことができました。みなさんまた来年をお楽しみに！

（通所科 坂本 絵梨奈）

アロマテラピー

通所では10月よりアロマテラピーの先生をお招きしてアロママッサージを活動にとり入れています。

アロママッサージで使用するマッサージオイルにはスイートアーモンドオイルをベースにその月のテーマに合わせエッセンシャルオイルがブレンドされています。講師の先生にマッサージされ利用者の皆様も心地よい香りに包まれリラックスされています。一方で、手技が不慣れなスタッフは緊張しながらもゆったりと触れ合う時間の大切さを改めて感じています。



アロママッサージの効果には、手・足がポカポカしたり緊張がとれたりするのはもちろんのこと、先生がマッサージすると排尿が促せたりする方もいます。（スタッフにはその技術はまだありませんが…）



月に1度のアロマテラピー、次回はどんな香りが待っているでしょうか。利用者様もスタッフもとても楽しみな活動の一つです。

（通所科 滝嶋 智恵子）

職場紹介

管理科ってどんなところ？

第5回

管理科は副所長（管理科科长兼務）1名、庶務係1名、会計係（用度兼務）1名、医事係1名、島田療育センター多摩から週1回派遣の情報機器管理係1名で業務を行なっています。

庶務係は職員に関する業務を行っています。人事・勤怠・給与を主に担当しています。他に東京都・保健所の書類管理、起案決済の管理、会議の議事録作成、郵便物の管理、来客対応など広範囲にわたります。業務が多様化しているため、効率よく業務が遂行できるように心掛けています。

会計（用度兼務）系の会計業務は、毎日の売上や取引先への支払、銀行業務等を行っています。又、市役所への提出資料や理事会へ報告する資料等作成しています。用度業務は、各部署より請求された物品を用度倉庫より、各部署へ搬入しています。また、不足している物品を迅速に発注、購入し職員が素早く業務に取り組めるように努めています。

医事係は患者様がスムーズに診察やリハビリテーションを受けていただけるように、受付や各部署に情報を伝える連絡係です。診察の予定表や統計表なども作成しています。また診察報酬請求業務という保険診療費や公費の負担金請求なども受付窓口と力を合わせて行っています。

情報機器管理係はセンター内のIT機器（ハードウェア・ソフトウェア）、電子カルテ、ネットワークの管理、システムのトラブル対応、ベンダーコントロールなど、センター内システムの運営管理を行っています。

管理科職員は、安定した経営ができるようにセンター全体の業務を把握して情報を共有し、利用者様と職員に対する安全管理やセンター内の環境整備を心掛け、質の高いサービスが提供できるように笑顔で頑張っています。

（管理科 田村 和子）



心理講習会

1月26日（土）に心理士主催で保育園、学校、地域の民間機関の先生方を対象に「感情コントロールが難しい子どもへの支援」について講習会を開催しました。

感情コントロールの発達の講義に加え、子どもが困っていることを理解するための様々な視点について紹介しました。講習会のアンケートから、今回1回限りの講習会で終わらず次年度も開催して欲しい感想を多数頂きました。次回開催する場合には、こちらが話すだけではなく、先生方の日々の豊かな実践を共有していくことを企画したいと思います。

（リハビリテーション科心理士 佐藤 匠）

平成24年度 講習会実績一覧

	テーマ	主な対象者
4月	ボランティア講習会	一般市民
6月	就学情報交換会（第一回）	保護者・関係機関
	問題行動への対応	教員
7月	すわる姿勢のポイントと福祉用具	保護者・関係機関
8月	親子で楽しむ手先の療育	保護者・関係機関
9月	WISK-IVを通じた児童理解	教員
10月	就学情報交換会（第二回）	保護者・関係機関
11月	食事とことばの発達	保護者・関係機関
1月	感情コントロールが難しい子への支援	関係機関
	構音障害の基礎知識①	きこえとことばの教室教員
2月	構音障害の基礎知識②	きこえとことばの教室教員
3月	WISC-IVの解釈および事例検討	教員
	構音障害の症状①	きこえとことばの教室教員

ほっといき

小金井公園

東京都小金井市にある小金井公園は、私が高校生のとき、体育の持久走の時間や部活動などでよく使わせていただいた場所です。春が近づくと梅の花が咲き、暖かくなってくると桜の花が咲き乱れ、お花見をする人で賑わいます。武蔵小金井駅からバスで15分程と少し遠いのですが、向かう道中にある玉川上水の堤の桜並木もとてもきれいなのでおすすめします。

また、園内にある“江戸東京たてもの園”は江戸時代から昭和初期までの29棟の復元建造物が立ち並んでおり、その中にはジブリ映画の“千と千尋の神隠し”にでてくるような、銭湯や電車などを見ることができます。まるで、アニメの世界に入ったような気持ちになり、ジブリ好きにはたまらないスポットになっています。



ぜひ一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。

（リハビリテーション科言語聴覚士 山上 典子）

お知らせ

information

『ボランティア講習会』

平成25年 4/13（土） 13:30～15:30

- ◆ 場所…当センター
- ◆ 対象…18歳以上の方
- ◆ お申し込み電話番号…042-634-9559
- ◎ 費用はかかりません。お気軽にご参加ください。

島田療育センターはちおうじ 小児診療



こどもクリニック

えみんぐ

各種 予防接種を行っています。

予約制となりますので詳しくはお電話でお問い合わせください。

診療内容

こどもがかかりやすい病気（発熱や嘔吐・下痢など）の診察・治療を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	●	●	●	●	●		
13:45～14:45	予	予	予	乳予	予		
15:00～17:00	●	●	●	◎	●		

予…予防接種 乳…乳児健診
◎木曜午後のみ15:30～17:00の診療となります
*土日他、祝日も休診となります



TEL. 042-634-9008

